

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮プランクトンの調査について

本日、赤潮プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、魚類に対して被害のあるコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大で 8 細胞/ml、カレニア・ミキモトイが最大で 0.002 細胞/ml が確認されました。

コクロディニウム・ポリクリコイデスが増殖傾向にありますので、餌やり等に十分注意してください。今後、海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

調査時間 (9:00~10:00) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	コクロディニウム・ ポリクリコイデス*1	カレニア・ ミキモトイ*1	ミリオネクタ・ ルブラ
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)			
宿毛湾中央 下図① 透明度 8m	0	18.4	32.4	7.16	0.004	0.000	1
	5	18.4	32.9	6.04	0.000	0.000	0
	10	18.2	33.2	6.14	0.000	0.000	0
ヒロウラ 下図② 透明度 6m	0	18.6	32.9	7.37	0.048	0.000	2
	5	18.7	33.6	6.56	7	0.000	57
	10	18.7	33.7	6.52	0.165	0.002	1
一切田 下図③ 透明度 6m	0	18.2	32.9	7.76	0.008	0.001	2
	5	18.1	33.6	7.05	8	0.000	24
	10	18.5	33.6	6.52	0.016	0.000	0
真珠 下図④ 透明度 7m	0	18.6	33.1	7.54	0	0	0
	5	18.7	33.4	7.09	0	0	1
	10	18.6	33.5	6.68	0	0	0

*1：魚類に対して被害のある種

※（宿毛湾中央、ヒロウラ及び一切田の海水 1ℓを 1000 倍に濃縮して検鏡しています。）

貝毒プランクトンの調査について

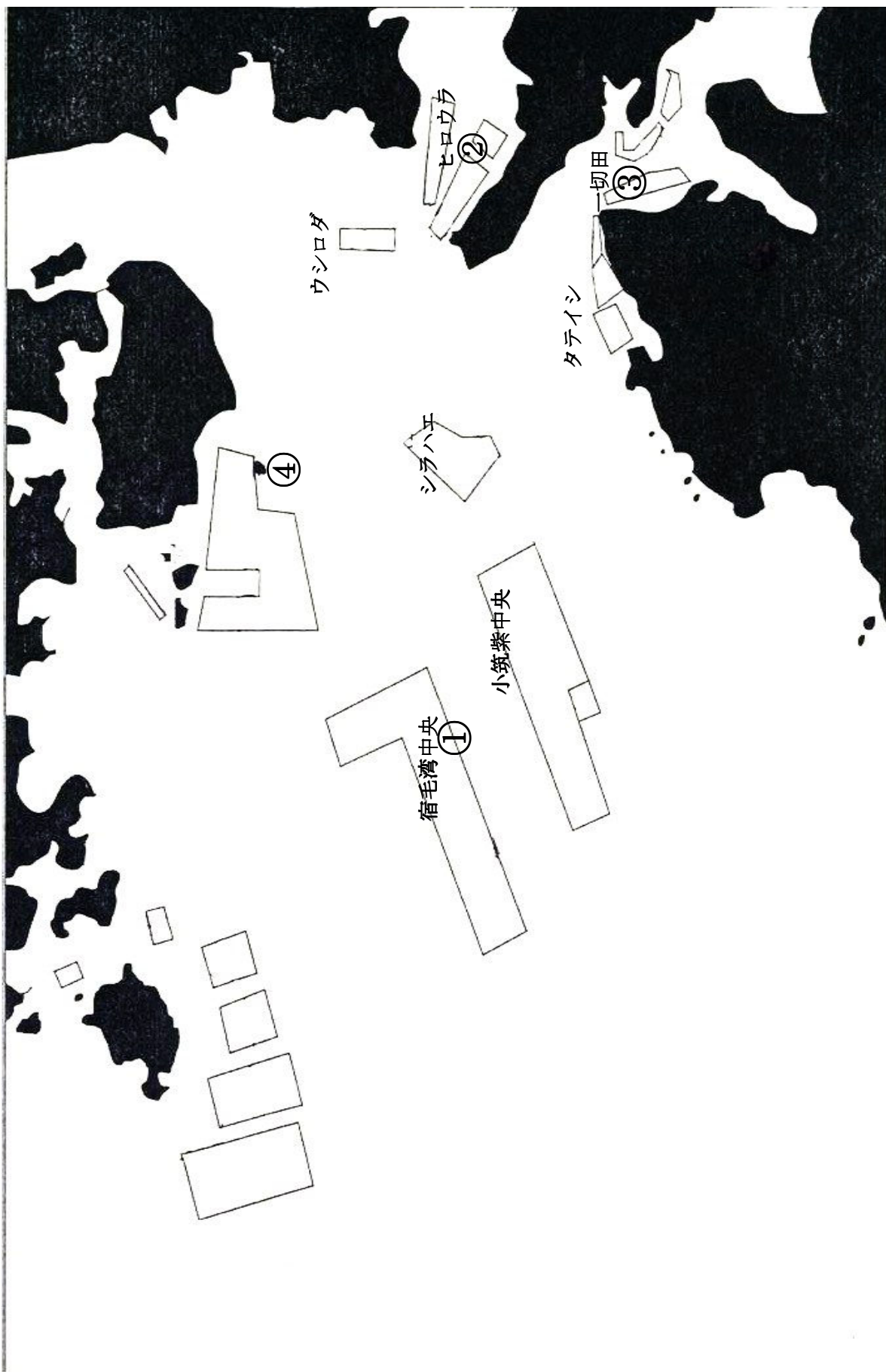
本日、貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因種であるギムノディニウム・カテナータム及びアレキサンドリウム属が最大で0.109及び0.043細胞/ml確認されました。

※（宿毛湾中央、ヒロウラ及び一切田及の海水1ℓを1000倍に濃縮して検鏡しています。）

調査時間 (9:00~10:00) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸素	ギムノディニウム・ カテナータム*1	アレキサンドリウ ム属*2	ディノフィシス属 *3
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)			
宿毛湾中央 下図① 透明度 10m	0	18.4	32.4	7.16	0.004	0.000	0.000
	5	18.4	32.9	6.04	0.000	0.006	0.000
	10	18.2	33.2	6.14	0.000	0.000	0.000
ヒロウラ 下図② 透明度 9m	0	18.6	32.9	7.37	0.045	0.009	0.000
	5	18.7	33.6	6.56	0.062	0.039	0.000
	10	18.7	33.7	6.52	0.079	0.043	0.000
一切田 下図③ 透明度 9m	0	18.2	32.9	7.76	0.004	0.010	0.000
	5	18.1	33.6	7.05	0.036	0.016	0.000
	10	18.5	33.6	6.52	0.109	0.034	0.000
真珠 下図④ 透明度 11m	0	18.6	33.1	7.54	0	0	0
	5	18.7	33.4	7.09	0	0	0
	10	18.6	33.5	6.68	0	0	0

*2：麻痺性貝毒の原因種

*3：下痢性貝毒の原因種



宿毛湾中央 ①

小筑紫中央

シマハチ

ウツロダ

マエバシ ②

マエダ

マエダ ③